

令和4年度の静岡県献血推進計画に基づく実施状況

1 献血により確保すべき血液量、献血者確保目標人数に対する実施状況

令和4年度目標に対する令和5年1月までの実績は以下のとおりであり、献血者確保目標の100%達成に向けて献血協力を依頼している。

なお、県内の献血需要に対しては、現在のところ不足なく供給されている。

	R4（4月～1月）			R3（4月～1月）		
	目標	実績	目標比	目標	実績	目標比
血液量（L）	58,718	44,209.2	75.3%	58,575	45,844.4	78.3%
献血者確保人数(人)	146,300	109,402	80.4%	145,800	122,901	84.3%

2 目標量を確保するために必要な措置に対する実施状況

新型コロナウイルス感染症対策及び若年層対策を中心に、下記の措置を実施し、献血の推進を図った。

ア 新型コロナウイルス感染症を含む新興・再興感染症対策の実施	
環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染対策のため、職員の健康管理や献血会場の清掃、消毒、換気に努め、献血者の感染防止を図った
献血予約の推進	<ul style="list-style-type: none"> 献血会場の混雑回避のため、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」による献血予約を推進し、予約枠を増やす等の対応を行った
対策の周知及び協力依頼	<ul style="list-style-type: none"> 7月の愛の血液助け合い運動や1～2月のはたちの献血キャンペーン運動の時期を中心に、新型コロナウイルス感染後やワクチン接種後の献血可能時期などについて、SNS等の各種広報媒体を用い、情報発信するとともに、献血への協力を依頼した
イ 若年層対策の実施	
「アボちゃんサポーター」事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の献血ボランティアをサポーターとして委嘱し、学内や地域で献血啓発活動を実施した（17校、155人） 活動を「ABO ニュース」としてまとめ、県内全高校へ配布した アボちゃんサポーターが献血への協力を呼び掛ける動画を制作し、SNS等で配信した
大学生等献血ボランティアの育成及び活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ及び大学等へのポスターの掲示、リーフレットの配布により、ボランティアを募集し、14回の講習会により124人のボランティアを育成し、活動の支援を行った
献血セミナーの推進	<ul style="list-style-type: none"> 31校、4,979人の高校生に対して、「献血セミナー」を実施し、献血に対する正しい知識の普及と協力の確保を図った
献血未実施校に対する戸別訪問の実施	<ul style="list-style-type: none"> 学内献血未実施の高校15校を戸別訪問し「献血セミナー」の積極的な開催と学内献血の実施を依頼した結果、うち1校が今年度から新たに学内献血を実施することとなった

高校生及び10歳代への2回目以降の献血協力の推進	<ul style="list-style-type: none"> これまでに献血を行ったことがある10歳代にメール配信(546人)により献血への協力を呼び掛けた
小学生、中学生を対象とした対策	<ul style="list-style-type: none"> 中学生を対象とした献血普及啓発ポスターを県内の全中学校から希望を募り配布した 血液センターにおいて、小中学生の体験学習受入を募集した
ウ 幼少期の子供とその親を対象とした普及啓発対策	<ul style="list-style-type: none"> 献血会場において子供向けリーフレットを配布した(献血会場における記念撮影会等は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
エ 企業等への献血推進対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> これまで献血活動に参加していない17の企業等に対し献血への協力を依頼した
オ 複数回献血者対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 献血会場等での紹介や登録会開催、ラブラッドによる献血が可能なことを周知し、ラブラッドの登録増加を図った(R5.1月末 64,861人(R3年度比 +11,313人)) 令和4年9月にラブラッドアプリを公開し、「アプリ版献血カード」「事前web問診機能」の導入、「プレ会員」の登録等を開始した
カ 献血推進のための啓発、広報等の実施	<ul style="list-style-type: none"> SNS等を含むマスメディアの活用、街頭での献血推進活動、パンフレット等により啓発を実施した
キ 静岡県献血推進大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 7月22日に静岡労政会館において開催した厚生労働大臣表彰状・感謝状の伝達(計12団体)知事褒賞の贈呈(9団体)日本赤十字社有功章の伝達(31団体)日本赤十字社静岡県支部長感謝状贈呈(29団体)
ク 静岡県献血推進協議会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度の献血推進計画等について協議(令和5年3月14日)
ケ 職場における献血の推進	<ul style="list-style-type: none"> 県庁舎や市町庁舎において積極的に移動採血車を受入れ、職員に対し庁内掲示板や全館放送で積極的な献血協力を呼び掛けた
コ 採血所の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 献血前の水分補給や、気分不良を防ぐようベッド上で脚部の運動を勧めるなど、献血者の安全確保に努めた 献血者の利便性の向上に資するため、ラブラッドを活用した事前予約枠を増やす等の対応を行った

3 その他

2のほか、次の事項を実施した

- (1) 市町献血担当部署との連携による献血実施企業の確保
- (2) 献血受入れ計画の策定による計画的な献血者の確保
- (3) 血液検査による健康管理サービスの充実
- (4) 検査目的の献血の防止のための広報活動
- (5) 献血における問診の徹底による安全性の確保
- (6) 献血者の意思を尊重した採血種類の決定
- (7) 血液センター、県における血液製剤の在庫水準の常時把握
- (8) 災害時等における献血の確保のための体制整備
- (9) 献血推進施策の進捗状況等に関する随時確認、評価・調整

〔参考〕

○県政インターネットモニターアンケート（R2・R4）

- 〔概要〕
- ・ 「(問1)献血経験」、「(問2)初回献血年齢」、「(問3)初回献血契機」、「(問4)献血未経験理由」に関しては、R2・R4同様の傾向
 - ・ 「(問5)広報」に関して、若い世代に対しては、Twitter、Facebook等のSNSや、インターネットの活用が効果的
 - ・ 「(問6)広報の認知度」に関して、Twitter、Facebook等のSNSや、インターネットによる広報の浸透度は他と比べると低い
 - ・ 〔参考〕令和4年度高校生献血ボランティア「アボちゃんサポーター」からの血液事業への意見・提言として、17校のうち9校から、啓発活動へのSNSの活用を提言

項目	選択肢	R2	R4
(問1) あなたは、献血をしたことがありますか。	献血をしたことはあるが、最近1年以内にはしていない	55.2%	52.6%
	1度も献血をしたことがない	34.0%	35.6%
	最近1年以内に献血をした	10.8%	11.8%
(問2) 初めて献血をしたのは何歳の時ですか。	19～22歳	38.6%	34.3%
	16～18歳	23.8%	24.8%
	23～29歳	19.2%	22.9%
	30～39歳	6.6%	8.2%
	覚えていない	6.6%	5.7%
	40～49歳	3.6%	2.7%
	50歳以上	1.6%	1.4%
(問3) 初めて献血をしたきっかけは何でしたか。 (複数回答可)	学校に献血車が来ていた	25.5%	30.2%
	職場に献血車が来ていた	32.1%	28.3%
	自分の血液が役に立ってほしいから	26.0%	27.0%
	輸血用血液が不足していると聞いたから	14.8%	13.4%
	自分の血液の検査結果が健康管理のためになるから	9.6%	11.7%
	家族、友人が献血していた	11.0%	10.4%
	献血会場で誘われた	16.7%	9.5%
	記念品などがもらえるから	5.5%	7.9%
	その他	4.7%	5.7%
	覚えていない	4.1%	5.4%
	過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから	5.2%	4.4%
	授業で献血について勉強した	1.9%	1.9%
	ラジオ、テレビ、市町の広報誌で知った	2.5%	1.9%
インターネット、SNS (Twitter、Facebook等) で知った	0.3%	0.0%	

<p>(問4) 献血をしない理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	体重、年齢、血色素量、最高血圧が献血基準に満たないから	33.0%	34.5%
	健康に自信がないから	27.1%	27.1%
	怖いから	19.7%	17.7%
	その他	9.6%	14.8%
	献血をするきっかけがないから	14.4%	12.8%
	海外渡航歴、薬の服用、輸血歴、既往歴(これまでにかかった病気)などから献血を制限されているから	8.5%	9.4%
	献血したい時に、献血車が地域や学校・職場に来ないから	5.9%	2.5%
	近くに※献血ルームがないから	5.3%	2.5%
	自分がしなくても誰かがしていると思うから	2.1%	2.5%
	どこで献血できるのか知らないから	0.5%	1.0%
	輸血用血液が不足していると思わないから	1.1%	0.0%

<p>(問5) 献血に関する広報について、特に若い世代(10代~30代)に対して効果があると思うものをすべて挙げてください。 ※R2は若い世代に限定せず (複数回答可)</p>	SNS (Twitter、Facebook等)	21.7%	69.5%
	学校、職場等での呼びかけ	55.3%	63.5%
	インターネット	16.1%	45.3%
	街頭や献血に関するイベントでの呼びかけ	54.6%	31.8%
	テレビ	73.2%	29.5%
	献血バスや献血ルーム周辺での呼びかけ	44.1%	21.1%
	ポスター・チラシ	34.7%	16.7%
	新聞	47.0%	6.1%
	ラジオ	31.3%	6.0%
	血液センターからはがきやメール	14.1%	4.4%
	その他	1.6%	2.5%
	わからない	—	2.5%

<p>(問6) 献血に関する広報について、見たこと(聞いたこと)があるものをすべて挙げてください。 (複数回答可)</p>	街頭や献血に関するイベントでの呼びかけ	70.0%	71.8%
	献血バスや献血ルーム周辺での呼びかけ	63.3%	64.4%
	テレビ	57.1%	56.7%
	ポスター・チラシ	43.2%	42.1%
	学校、職場等での呼びかけ	29.8%	41.9%
	新聞	41.2%	35.8%
	ラジオ	24.4%	18.6%
	血液センターからのはがきやメール	8.0%	9.8%
	静岡県公式ホームページや静岡県赤十字血液センター等(日本赤十字社、めぐる献血PROJECTなど)のホームページ	9.4%	7.4%
	SNS (Twitter、Facebook等)	3.8%	5.1%
	見たこと(聞いたこと)はあるが覚えていない	1.1%	1.2%
	その他	0.9%	1.1%
	見たこと(聞いたこと)がない	1.1%	0.7%

○県政インターネットモニターアンケート概要

令和2年度調査概要			
期間：R2.8.26～9.8			
回答者数：553人（回答率：90.8%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	264	47.7%
	女性	287	51.9%
	その他	2	0.4%
年代	10代	5	0.9%
	20代	22	4.0%
	30代	79	14.3%
	40代	120	21.7%
	50代	136	24.6%
	60代	95	17.2%
	70代	74	13.4%
	80代	22	4.0%
	90代	0	0.0%
住所	東部	168	30.4%
	中部	199	36.0%
	西部	185	33.5%
	県外	1	0.2%
職業	自営業	28	5.1%
	会社員	195	35.3%
	公務員	12	2.2%
	パート・内職従事者	96	17.4%
	学生	13	2.4%
	無職	179	32.4%
	その他	30	5.4%

令和4年度調査概要			
期間：R4.10.21～11.3			
回答者数：570人（回答率：84.2%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	247	43.3%
	女性	321	56.3%
	その他	2	0.4%
年代	10代	5	0.9%
	20代	35	6.1%
	30代	54	9.5%
	40代	122	21.4%
	50代	148	26.0%
	60代	107	18.8%
	70代	78	13.7%
	80代	21	3.7%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	7	1.2%
	東部	175	30.7%
	中部	218	38.2%
	西部	168	29.5%
	県外	2	0.4%
職業	自営業	40	7.0%
	会社員	186	32.6%
	公務員	15	2.6%
	パート・内職従事者	114	20.0%
	学生	27	4.7%
	無職	164	28.8%
	その他	24	4.2%